

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 22 日 (2006.6.22)

【公開番号】特開 2004-32725 (P2004-32725A)

【公開日】平成 16 年 1 月 29 日 (2004.1.29)

【年通号数】公開・登録公報 2004-004

【出願番号】特願 2003-134807 (P2003-134807)

【国際特許分類】

**H 0 4 L 12/56 (2006.01)**

**H 0 4 J 3/00 (2006.01)**

**H 0 4 J 3/14 (2006.01)**

**H 0 4 L 12/28 (2006.01)**

【F I】

H 0 4 L 12/56 4 0 0 B

H 0 4 J 3/00 U

H 0 4 J 3/14 A

H 0 4 L 12/28 2 0 0 M

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 5 月 9 日 (2006.5.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】個別のアドレスをもつ通信ポート間でデータフレームを搬送するネットワークにおいて通信を試験する試験装置であって、  
複数の通信ポートと、  
前記通信ポートを介して送信される試験データフレームを生成する試験データ生成器と、

前記通信ポートに関連付けられる所定アドレスの複数の組を記憶する記憶装置と、  
前記試験装置の複数の試験モードの中からユーザーが選択した 1 つのモードの標識を受け取り、該標識に従って、前記所定アドレスの複数の組のうちの 1 つを選択するセレクトと、  
を有する試験装置。

【請求項 2】前記試験装置は、複数のユーザー選択可能な動作構成を備えており、前記所定アドレスの組は、ユーザーが選択した 1 つの動作構成の標識に従っても選択される、請求項 1 に記載の試験装置。

【請求項 3】前記所定アドレスと通信ポートの関連付けは、次の表のとおりである、請求項 2 に記載の試験装置。

【表 1】

モード	コンフィグレーション1		コンフィグレーション2	
	(ポートアドレスはAとB)		(ポートアドレスはXとY)	
	ポート 1 Tx(A) 宛先アドレス	ポート 2 Tx(B) 宛先アドレス	ポート 1 Tx(X) 宛先アドレス	ポート 2 Tx(Y) 宛先アドレス
1	アドレス B	アドレス A	—	—
2	アドレス X	アドレス Y	アドレス A	アドレス B
3	アドレス X	アドレス Y	—	—
4	—	—	スワップ	スワップ

【請求項 4】個別のアドレスを備えた通信ポート間でデータフレームを搬送するネットワークにおいて通信を試験する方法であって、

複数の通信ポートを提供するステップと、

前記通信ポートを介して送信される試験データフレームを生成するステップと、

前記通信ポートに関連付けられる所定アドレスの複数の組を記憶するステップと、

前記試験装置の複数の試験モードの中からユーザーが選択した 1 つのモードの標識を受け取り、該標識に従って前記所定アドレスの複数の組のうちの 1 つを選択するステップと、  
を有する方法。

【請求項 5】複数のユーザー選択可能な動作構成を提供するステップを含み、前記所定アドレスの組は、ユーザーが選択した 1 つの動作構成の標識に従っても選択される、請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】個別のアドレスを備えた通信ポート間でデータフレームを搬送するネットワークにおいて通信を試験する試験装置であって、

ネットワークを介して送信された試験データフレームを受信するレシーバと、

前記受信された試験データフレームを送信した試験装置のアイデンティティおよび前記試験データフレームが送信された通信ポートのアイデンティティを判定するソース識別器と、  
を有する試験装置。

【請求項 7】前記試験データフレームが送信された前記通信ポートのアイデンティティは、該通信ポートの前記個別のアドレスに付加されたデータを参照することによって判定される、請求項 6 に記載の試験装置。

【請求項 8】複数の通信ポートと、

前記通信ポートを介して送信される試験データフレームを生成し、前記生成したそれぞれの試験データフレーム内に該フレームが送信される通信ポートのアイデンティティの標識（該ポートのアドレスとは異なるもの）を含めるように動作可能な試験データ生成器と、  
を含む、請求項 7 に記載の試験装置。

【請求項 9】個別のアドレスを備えた通信ポート間でデータフレームを搬送するネットワークにおいて通信を試験する方法であって、

ネットワークを介して送信された試験データフレームを受信するステップと、

前記受信された試験データフレームを送信した試験装置のアイデンティティおよび前記試験データフレームが送信された通信ポートのアイデンティティを判定するステップと、  
を有する方法。

【請求項 10】前記試験データフレームが送信された通信ポートのアイデンティティは

、前記通信ポートの個別のアドレスに付加されたデータを参照することによって判定される、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】複数の通信ポートを提供するステップと、  
前記通信ポートを介して送信される試験データフレームを生成するステップと、  
それぞれの試験データフレーム内に該フレームが送信される通信ポートのアイデンティティの標識（該ポートのアドレスとは異なるもの）を含めるステップと、  
を含む、請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】個別のアドレスを備えた通信ポート間でデータフレームを搬送するネットワークにおいて通信を試験する試験装置であって、  
複数の通信ポートと、  
前記通信ポートを介して送信される試験データフレームを生成する試験データ生成器と

、  
前記試験装置の複数の試験モードを記憶する記憶装置と、  
複数の試験モードの中からユーザーが選択した 1 つのモードの標識を受け取り、該標識に従って、前記通信ポート及び前記試験データ生成器の動作のモードを選択するセレクトと、  
を有する試験装置。

【請求項 13】前記複数の試験モードは、  
試験データフレームが前記試験装置の第 1 通信ポートから前記ネットワークを介して該試験装置の第 2 通信ポートに送信されるモードと、  
試験データフレームが前記試験装置の第 1 通信ポートから前記ネットワークに接続された第 2 の試験装置の個別のポートに送信されるモードと、  
試験データフレームが前記試験装置の第 1 通信ポートから前記ネットワーク及び第 2 試験装置を介して該試験装置の該第 1 通信ポートに送信されるモードと、  
の中の少なくとも 2 つを含む、請求項 12 に記載の試験装置。

【請求項 14】個別のアドレスを備えた通信ポート間でデータフレームを搬送するネットワークにおいて通信を試験する方法であって、  
複数の通信ポートを提供するステップと、  
前記通信ポートを介して送信される試験データフレームを生成するステップと、  
前記試験装置の複数の試験モードを記憶するステップと、  
前記試験モードの中からユーザーが選択した 1 つのモードの標識を受け取り、その標識に従って前記通信ポートおよび前記試験データ生成器の動作モードを選択するステップと、  
を有する方法。

【請求項 15】前記複数の試験モードは、  
試験データフレームが第 1 試験装置の第 1 通信ポートから前記ネットワークを介して該第 1 試験装置の第 2 通信ポートに送信されるモードと、  
試験データフレームが前記第 1 試験装置の第 1 通信ポートから前記ネットワークに接続された第 2 試験装置の個別のポートに送信されるモードと、  
試験データフレームが前記第 1 試験装置の第 1 通信ポートから前記ネットワーク及び前記第 2 試験装置を介して該第 1 試験装置の該第 1 通信ポートに送信されるモードと、  
の中の少なくとも 2 つを含む、請求項 14 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

【表 2】

<u>モード</u>	<u>試験セット1セットアップ</u> (ポートアドレスはAとB)		<u>試験セット1セットアップ</u> (ポートアドレスはXとY)	
	ポート 1 Tx(A) 宛先アドレス	ポート 2 Tx(B) 宛先アドレス	ポート 1 Tx(X) 宛先アドレス	ポート 2 Tx(Y) 宛先アドレス
ループバック(2 ポート)	アドレス B	アドレス A	—	—
エンドツーエンド	アドレス X	アドレス Y	アドレス A	アドレス B
ループバック(1 ポート)	アドレス X	アドレス Y	—	—
ループスルー	—	—	スワップ	スワップ

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 7】

【表 3】

<u>モード</u>	<u>コンフィグレーション1</u> (ポートアドレスはAとB)		<u>コンフィグレーション2</u> (ポートアドレスはXとY)	
	ポート 1 Tx(A) 宛先アドレス	ポート 2 Tx(B) 宛先アドレス	ポート 1 Tx(X) 宛先アドレス	ポート 2 Tx(Y) 宛先アドレス
1	アドレス B	アドレス A	—	—
2	アドレス X	アドレス Y	アドレス A	アドレス B
3	アドレス X	アドレス Y	—	—
4	—	—	スワップ	スワップ